

一般社団法人 日本薬学教育学会  
2019 年度第 2 回理事会 議事録

開催日時：2019 年 12 月 17 日（火）10：00～12：30

開催場所：AP 品川 9 階 L ルーム

理事：乾 賢一、中村明弘、有田悦子、石川さと子、入江徹美、亀井美和子、  
小佐野博史、鈴木 匡、永田泰造、西口工司、長谷川洋一、平田收正、安原智久

<欠席>：石井伊都子、小澤光一郎、木内祐二

監事：市川 厚

<欠席>：小池啓三郎

事務局：斎藤 渉、村上 聡

議事：

1. 2019 年度定時社員総会議事録（案）について

2019 年 8 月 24 日に大阪大学豊中キャンパスで開催された 2019 年度定時社員総会の議事録案が中村理事より紹介され承認された。

2. 第 4 回大会の事後報告

2019 年 8 月 24-25 日に大阪大学豊中キャンパスで開催された第 4 回大会の概要・運営・参加者・経費収支が平田理事より資料に基づいて説明された。今後の課題としては、大会開催校の事務局負担の軽減、参加者増と一般演題発表の活性化、学生発表演題の示説時間帯の配慮などが挙げられた。

3. 役員選任について

乾理事長から、役員・理事長等選任細則第 2 条に基づいて選挙管理委員会を設置し、選挙管理委員として次の個人会員 3 名（伊東明彦、奥 直人、後藤恵子）を選任したいとの提案があり承認された。

事務局より役員選挙の公示案が資料に基づいて説明され、一部修正を行ったのち選挙管理委員会に諮ることとした。事務局が作成した理事および監事の立候補届の様式案について協議し、ワード及び PDF でのダウンロードを可とし、略歴記載欄も設けることにした。

役員選挙で選出される理事は 6 名～12 名であることを確認した。投票は単記か連記か、連記の場合は何人とするか等の具体的な投票方法については選挙管理委員会で協議し、理事会で確認することとした。

4. 理事会の開催スケジュールについて

理事会の今後の開催時期と主な議題について中村理事より資料に基づいて提案され、2019 年度はあと 3 回（2020 年 2～3 月、4 月下旬、6 月初旬）、2020 年度は 6 回（2020 年 7 月下旬～8 月初旬、9 月 12 日、12 月初旬、2021 年 2 月下旬、4 月下旬、6 月初旬）開催する方針が確認された。具体的な開催日時については事務局が日程調整を行うこと

とした。また、2020 年度定時社員総会は第 5 回大会 1 日目の 9 月 12 日（土）に開催し、役員を選任、理事長・副理事長の選定等があるため 90 分の時間を確保してもらうよう小佐野理事に依頼した。

5. 他学会からの依頼（学術集会の後援、広報など）への対応について

事務局より、第 4 回日本老年薬学会学術大会から後援名義の使用依頼があったことが報告され、資料に基づいて概要を確認し、後援を承諾することとした。

6. 2019 年度学会賞の選考について

学術担当の安原理事より 2019 年度の学会賞募集について資料に基づき説明された。基本的には 2018 年度と同様とするが、候補者・推薦者は本学会の会員に限ることとし、審査期間は 2 ヶ月程度を確保することとした。2020 年 1 月 27 日（月）を締切日として早急に募集を開始するが、募集期間が短いため応募状況に応じて締切の延長も考慮することとした。

7. 委員会の設置について

定款第 38 条「当法人は、会務の執行のために必要があるときは、各種の委員会を設けることができる」にしたがって平田理事より「薬学実務実習委員会（仮称）」の設置が資料に基づいて提案され、協議の結果、同委員会を設置することが承認された。委員会の委員長・委員や任務等については改めて提案されることとなった。

8. 編集委員会報告

編集委員長の入江理事より「薬学教育」第 3 巻の発行準備状況が報告された。巻頭言は当該年度の大会開催校に依頼することが確認された。また、第 3 巻には本学会の歩みを中心とした薬学教育の年譜を作成して掲載する。

9. 第 5 回大会の準備状況

小佐野理事より第 5 回大会の開催概要が資料に基づいて報告された。特別講演は帝京大学ラグビー部顧問の岩出教授、教育講演は厚生労働省医薬・生活衛生局総務課薬事企画官の安川孝志氏、シンポジウム・ワークショップは 2 日間で 20 枠として公募する。参加者は 700 名を目標としている。

10. 第 5 回大会プレシンポジウムについて

第 5 回大会プレシンポジウムを昨年度と同様に名古屋市立大学薬学部で 3 月に開催する方向で検討していることが報告された。

11. 広報活動について

広報担当の石川理事より、第 5 回大会のホームページとリンクを設定し、シンポジウム・ワークショップの公募についてはメールを送信する予定であることが報告された。

12. 予算執行状況について

財務担当の亀井理事より、予算の執行状況が報告された。予算の執行率は約 25%で、年度後半の支出が多くなるので概ね問題ない。現在、学術研究推進費と広報費の執行率がゼロである。

13. 現在の会員登録状況について

事務局から資料に基づいて会員登録状況が報告された。大会が終わり新規入会は減少しており、機関会員の増減はない。年会費の請求書を未納者に再送付し、役員選挙と関連づけて年会費納入のリマインドメールを送る予定。

14. その他

次回理事会の開催予定は改めて日程調整を行うこととした。

(議事録文責：中村明弘)

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び出席監事がこれに署名捺印する。

2019年 12月 17日

一般社団法人日本薬学教育学会

理事長 乾 賢一

監 事 市川 厚